

二次評価に寄せられた質問等への回答について

【基本目標 1】

課題 1

○PTA家庭教育学級で男女共同参画講座の実施を依頼したが、実施されなかった理由は？（社会教育課）

- ・いるま生涯学習出前講座は、まちづくり・行政、環境・自然、健康・福祉、くらしコミュニティなど、5分野70のメニューで、講演会の実施を呼び掛けているもの。
- ・PTA家庭教育学級は、各小中学校のPTA役員に対して、令和4年度は2回程度の講座の開催を依頼しており、その際、「親学・子育て学習」・「人権学習」のテーマで各13メニューを提示している。
- ・令和4年度は「人権学習」に『「女性の人権」・「子どもの人権」』をメニューに加えたが、開催を希望する学校（PTA）がなかったため、タイトルの工夫等について今後は検討したい。

課題 2

○パネル展の来場者数は？（人権推進課）

- ・パネル展は、広く市民の方に知って頂けるよう、市役所本庁の1階ホールの壁を使ってパネル展示を行っているもの。来庁された市民の方に自由に展示を見て頂いているため、職員の配置はなく、参加者数等については把握していない。

○中学校での LGBTQ 講演会の他校での開催予定は？（人権推進課）

- ・中学校での LGBTQ 講演会は、令和4年度に初めて（市民との協働事業としての実績はあり）予算計上したもので、令和4年度は2校で開催したもの。中学校全校での実施を目指し、令和5年度以降も継続して予算計上しているが、当事者と思われる生徒がいない中学校からの講演会への要望がないため、より一層の働きかけを行いたいと考えている。令和5年度は、中学生を対象としたものに加えて、小学校の教員、小学校教員・PTAへの講演の希望がある。

課題 3

○商工観光課の YouTube 講演会の再生数や受講者の評価は？（商工観光課）

- ・商工観光課では、人権に対する理解を深めることを目的に、市内事業者や人権擁護に関わる団体など計12団体を対象とした企業人権問題講演会を実施しており、令和4年度は、「企業におけるパワーハラスメント対応」をテーマとして、令和4年11月25日（金）～12月23日（金）の間、配信。約1カ月間で208回の再生があった。YouTube にアンケート機能がないため、評価については把握していない。

【基本目標 2】

課題 2

○市役所内や市内事業所での男性の育児休業の取得率は？（人事課・商工観光課）

- ・市役所職員の令和4年度の育児休業取得率は 90.90%。
- ・県の調査で、令和4年度の男性の育児休業の取得率は 27.0%との結果が出ているため、県に確認したが、市町村別の集計は行っていないとのことのため、市の実績は不明。

○フレックスタイム制やテレワークの進捗状況は？（人事課・商工観光課）

- ・市では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、フレックスタイムやテレワークに関する環境は整った。数は多くないが、会議の時間に合わせて出勤時間を遅くするなどのフレックスタイムや、子育て中の職員がテレワークを行っている。
- ・市内事業所について、フレックスタイム制やテレワークについての調査はないが、民間ではテレワークが定着してきている。

【基本目標3】

課題2

○学校教育課の取組みについて、自己評価が「維持」となっている項目について「今後も継続して実施」の認識について確認したい。（学校教育課）

- ・いずれの項目も、取組みについて真剣に向き合い、その時に必要と思われるベストな対応を考えながら実施していくものであり、「達成」「進展」「停滞」のいずれにも当てはまらず、評価としては「継続」とした。また今後も、同様に適切な対応をしていく予定であるため継続実施とした。

○相談窓口についての簡単なマップがあるとよい。 → 市民相談日程・市HPの記事参照(資料3)

【基本目標 4】

指摘事項・改善点

○市職員を対象とした男女共同参画に関する研修受講者について、感想やレポート等は？（人事課）

- ・令和4年度は、「子育てと仕事の両立セミナー」をテーマに、子育て中に限らず、今後子育てをしたい、職場の産休・育休職員の支援をする(している)職員を対象に実施。
- ・自分の課題として考えてもらうため、グループワーク形式を取り入れ、各部から4名の推薦を受け、40人定員で実施(参加は39名)。
- ・アンケートの結果では、講義に対する理解度は高く、また、様々な年代・家庭での立場の職員が男女問わず参加したことにより、グループワークでの意見交換に対する高評価が多かった。
- ・アンケートの主なもの、「女性の参加が多いと予想していたが、幅広い年代、男女別の視点からの意見が聞けて良かった」「男女も役職も、既婚も、未婚も、子ありもなしも、様々な人との意見交換が出来て刺激になった」「自分は男性だが、今後結婚をする際に相手の生き方を尊重できるよう、今回の研修は重要なものだった」など。